

- 1 3組 生活単元学習 単元名「冬の遊びを楽しもう」
- 2 令和4年2月10日（木） 第1校時 3組教室
- 3 本時の学習（4／5）
- 4 本時で身に付けさせたい資質・能力と手立て
 児童A：みんなで楽しく遊ぶために、相手が読みやすいまとめ方を考えることができる。
 手立て：まとめ方のよい例、悪い例を示して、3年生にとって読みやすいまとめ方を考えさせる。
 児童B：みんなで楽しく遊ぶために、どうやって遊ぶと楽しくなるのか考えることができる。
 手立て：ドングリごまの回り方だけの資料を見せて、遊び方やルールが必要であることに気付かせる。
- 5 展開

活動や発問・評価	時	ノート・ワークシート・ICT活用
1. 前時の活動を振り返り、本時のめあてをもつ。 T: 凧やドングリごま、すごろくなどで、4組の友達と一緒に遊ぶのは楽しみですか？ S: 楽しみです。 T: 4組の友達もすぐに遊べそうですか？ S: すぐに遊べます。 T: 自分たちもそうでしたか？ S: 初めはうまくいかなかった。 T: どれがうまくいかなかったのかな？ S: 凧、ドングリごま。 T: どうすればみんなで楽しく遊べそうかな？ S: 遊び方が分かるといい。 <めあて> みんなで楽しく遊ぶために、凧やドングリごまの遊び方を伝えよう。 2. 凧やドングリごまの遊び方を伝える資料を作成する。 T: 先生の作った凧あげの資料を見てください。 T: どちらの資料の方が、4組の友達に伝わりやすいですか？ T: どうして伝わりやすいのですか？ S: 漢字ばかりじゃないから。 T: 先生が作ったドングリごまの資料を見てください。 T: これで楽しく遊べそうですか？ S: 遊び方がないから、遊び方も説明する。 T: 今考えたり気が付いたりしたことを入れた資料を作ってください。 児童A ・相手に読みやすい（伝わりやすい）方法を考えて、資料に表現している。（観察・資料） 児童B ・みんなで楽しめるように考えたことを資料に表現している。（観察・資料） 3. お互いの資料を見せ合う。 T: では、お互いの資料を見せ合いましょう。気が付いたことがあれば教えてあげましょう。 T: 手直しの必要があれば、資料を直してください。 4. ドングリごまやすごろく、福笑いで実際に遊ぶ。 5. 本時の活動を振り返る。	5 20 5 10 5	・活動の見通しをもたせるために、本時の活動の流れをホワイトボードに掲示する。 ・資料の例を見て気が付いたことを板書し、自分の資料づくりに生かせるようにする。 <凧あげ> 難しい言葉や漢字ばかりの資料と、ひらがなや簡単な言葉で書かれた資料を比較させ、どのような資料を作ればよいか考えさせる。 <ドングリごま> こまの回り方だけ説明した資料を見せ、遊び方やルールが必要であることに気付かせる。 タブレットの画面を見せ合いながら作った資料を紹介させる。 <板書> ⑤ みんなで楽しく遊ぶために、凧やドングリごまの遊び方を伝えよう <活動の流れ> ① 資料をつくる ② お互いの資料を見せ合う ③ ドングリごまやすごろく、福笑いなどで遊ぶ <資料のポイント> ・3年生でも分かる。 ・遊び方が分かる。 <スクリーン> ・相手（4組の児童）への伝わりやすさの違いを比較して考えられる資料を投影する。 ・ドングリごまの遊び方やルールの必要性に気付ける資料を投影する。
<授業後にイメージする児童の姿> 児童A：伝える相手のことを考えて、相手に合った表現ができる。 児童B：みんなで楽しく遊ぶために必要なことを考え表現できる。		